

討議文書 II 参考

【土地利用及び自然資源の利用と管理に際しての考え方】*

*SATOYAMA イニシアティブ国際ワークショップ（2009年3月6日 東京）の議論の成果の要約

（1）複合生態系に着目した土地利用

- ・ 上記ランドスケープが、異なる土地利用のモザイク構造により形成されていることを踏まえ、広域的視点から土地利用を検討する必要があります。
- ・ このとき、地形や土壌など土地自然に適した土地利用であることが重要です。
- ・ また、農業や林業などの生産活動の相乗効果を最大限に引き出し、対立を最小限にしていくことが必要です。そのためには、それぞれの土地利用に関係する、様々な政策やセクターを横断した統合的なアプローチが求められます。水系を軸とした流域の生態系管理の視点も重要です。
- ・ さらに、周辺の原生自然域との関係にも注意する必要があります。

（2）環境収容力と自然復元力を踏まえた持続的な資源利用

- ・ 水、土壌、動植物など自然資源を将来にわたって利用し続けるためには、自然の持つ回復力、環境収容力の範囲内において、利用することが重要です。
- ・ たとえば、自然復元力にあわせた適正な規模の利用区画と、適正な頻度での移動（シフティング）が必要になります。
- ・ 注意すべき点は、このような自然復元力（レジリエンス）や環境収容力が、それぞれの土地によって異なり、またこれまでの利用や管理の仕方、その時々気象にも影響されるという点です。
- ・ 持続可能性を評価するための効果的でわかりやすい指標の設定、それらの指標を用いたモニタリングと評価、そして評価結果に基づき柔軟に資源利用の方法を見直していく順応的管理の考え方が重要です。
- ・ また、このような自然復元力、動態性の考えを、各土地利用、産業に関係する政策や制度に組み込んでいくことが必要です。

（3）多様な主体による利用と管理、合意形成（新しいコモンズ）

- ・ 従来、農村地域の林地、草地、ため池などは、しばしば地域コミュニティによって共同で利用、管理が行われてきました。近年、土地所有が公と私に二極化することにより、このような共同利用と管理が行われなくなっている地域が増えています。しかし、持続的な資源利用を促進し、生物多様性と生態系サービスの保全するためには、地域コミュニティと

して取り組みに参加することが不可欠です。

- ・ 計画づくりから管理の実践・評価に至る一連のプロセスにコミュニティが主導的に参画するコミュニティーベースドアプローチが有効です。コミュニティが中心となった管理委員会を設け、保護林－利用林－再生林のゾーニングに応じた管理や、地域の資源利用の知恵を子供たちに伝える環境教育を進めるコミュニティフォレストの取組は良い例です。
- ・ 一方で、生態系サービスの恵みを受ける圏域の多様な利害関係者も積極的に参加・連携し、合意を形成することも重要です。都市の消費者や企業、自治体、NGOなどが、生態系管理のための知識を共有し、費用や労働力などの負担を分かち合うことが重要です。多様な主体の連携のもと、新たな利用・管理の体制の構築が求められます。またその際に、人々の意識の向上と教育、取り組みの実施に必要な技術支援は必要不可欠な要素です。

(4) 地域の生活・歴史・文化の維持・発展との両立

- ・ 持続的な土地利用・資源管理の仕方は、各地域において、人間が長い間、その土地の自然環境の下で、最大限の生態系サービスを効率的かつ持続的に引き出そうと努力してきた結果であり、多くの学ぶべき点は、各地域の伝統的な土地利用・資源利用形態の中に見出せるといえます。
- ・ 一方で、近年の大きな社会経済の変化に適応可能な、新たな人と自然の調和的な関係の構築が強く求められています。そのため、このような伝統的な土地利用や資源管理・利用形態の持つ合理性を科学的に解明し、現代の科学技術との統合を図ることが重要です。
- ・ その際、生態系サービスの再評価を行い、新たな資源価値の創出などを通じて地域経済の向上に貢献する仕組みを設けることが必要です。
- ・ 例えば、エコツーリズムの展開や、環境調和型のバイオマス資源の利用などにも注目すべきです。
- ・ オーガニック作物など、生物多様性に配慮した農産物が市場で評価され、付加価値が生まれ、住民の収入の向上につながる例も見られるようになってきました。
- ・ また、地域の歴史や文化、地域固有の自然観の尊重が不可欠であり、地域の歴史的・文化的文脈に即した固有の成果を生み出していくことが重要です。
- ・ このように持続的な自然資源管理と土地利用に向けた取り組みは、特に地域住民の生活の経済的、文化的な安定と向上に結びつくものである必要があります。とりわけ、このような取り組みを通じた貧困の改善が必要です。